平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

整理番号	13 ― 4

1　事務事業の表示

※ ■ ：　該当

事務事業名	介護老人保健施設開設準備事業					
評価者	担当課名		国保病院	担当係名		庶務係
	管理職	職名	事務長	作成者	職名	係長
		氏名	高見雄二		氏名	新谷朋人
事業の概要	医療療養病床の利用率と採算性、地域ニーズ等を考慮し、国の療養病床の削減方針に則り、病床転換に係る各種支援措置の適用となる平成２３年度中を目途とし、雄武町国民健康保険病院の医療療養型病床２６床について、介護老人保健施設へ転換することとし、開設に向けた準備を進める。					

全体計画	/単年度繰返
（平成 22 年度～ 23 年度）	
事業費 国・道支出金	千円
事業費 地方債	千円
事業費 その他	千円
事業費 一般財源	2,000 千円
事業費計	2,000 千円

実施方法	■ 直営	民間委託	その他（　　）

第５期総合計画（前期）	■ 登載事業	非登載事業	優先度	A

事業の位置付け		
政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～
基本施策	7	高齢者支援の充実
単位施策	1	介護サービスの充実
事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務
その他計画・根拠等		

事業費 実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(計画)	24年度(計画)
国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他財源	千円	千円	170 千円	2,000 千円	千円
雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	千円	千円	千円
合計	千円	千円	170 千円	2,000 千円	千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	雄武町国民健康保険病院
【抱える課題やニーズは】	雄武町国民健康保険病院の療養病床は、医療必要度の低い「社会的入院」といわれる患者が多く、また、利用率も低いため採算性に乏しい。
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	空きベッドの有効活用によって、経営の良化を図る。
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	医療療養型病床を介護老人保健施設へ転換する。

望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）

介護老人保健施設の開設

指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
① 開設施設数	目標年度	23年度
	目標値	1
	実績値	0
	達成度	0.0 %
②	目標年度	
	目標値	
	実績値	
	達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
老健転換施設等先進地視察	道内で公立病院から介護老人保健施設へ転換した（する）事例を調査し、視察と転換に向けた情報の聞き取り等を行った。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	療養病床を速やかに介護老人保健施設へ転換するためには、先進地の視察を行い、転換手法などの情報を得ることは必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	施設状況の確認と転換に向けた事務などの情報を得ることができた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	視察先の選定や交通手段、視察日程について事前に協議し、費用削減に努めた中で、速やかな介護老人保健施設への転換に向けた有効な情報を得ることができた。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	病院の経営状況の良化は、常に町民が望むところである。また介護老人保健施設の開設は、要介護者の生活支援の一助となり、町の基本施策である高齢者支援の充実にもつながることから公平なものと判断する。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
療養病床の介護老人保健施設への転換に向けた必要な情報を集めることができた。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
平成23年度も引き続き必要な情報収集に努めるとともに、事業計画に基づき、より具体的な事務作業を進め、平成24年3月の速やかな開設を目指す。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）